



院内認定看護師制度



4期生スタートしました！

院内認定看護師制度4年目を迎えました。院内認定看護師は、特定の領域において習得した知識・技術を実践に生かし、臨床における実践モデルとなり、看護の質の向上に貢献する看護師の育成を目的としています。今年度も、感染管理分野3名、褥瘡ケア分野4名の受講生が1年を通し講義や実習を受け、学びを深め、2月に認定試験にチャレンジします。



■ TOPICS 今回のテーマ

今回は「皮膚・排泄ケア認定看護師」と「感染管理認定看護師」からのお知らせです。

■ 皮膚・排泄ケア認定看護師の役割

皮膚・排泄ケア認定看護師は、専門的知識と技術を用いて、スキンケア、褥瘡（床ずれ）や下肢潰瘍などの創傷、人工肛門・人工膀胱及び失禁などの排泄に関わる分野を専門とし、患者・家族のQOL向上を目指して皮膚障害の予防～治療、ケアの実践、排泄管理のセルフケア支援、スタッフ教育を行う役割を担っています。

■ 感染管理認定看護師の役割

感染管理認定看護師は、専門的な知識と技術を用いて、患者さま・訪問者・医療従事者・施設・環境を対象に感染に対するリスクを最小限に抑えるために、正しくかつ効率的な感染管理を計画、実践、評価し、提供するサービスの質の向上を図るといった重要な責任をもっています。



皮膚・排泄ケア認定看護師の活動

意外と知らない？ ～医療用テープのはがし方～

◆皮膚トラブルを軽減するために、

化学刺激の少ない粘着剤の使用、はがす際の皮膚への刺激を少なくするなどの工夫がされている製品もありますが、正しい貼り方、はがし方により皮膚トラブルを軽減できます。

1. テープ貼付に伴う皮膚障害の発生要因

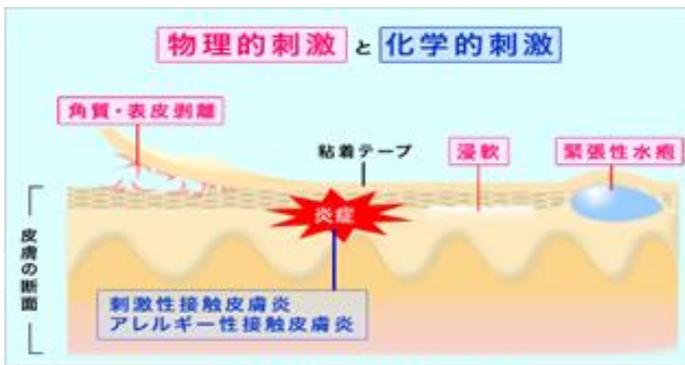
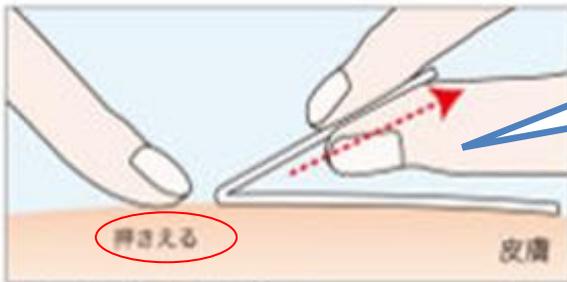


図 テープ剤による皮膚障害とその要因

- ① 汗が透過せず皮膚が蒸れて浸軟し雑菌が繁殖
- ② テープの中の刺激物質が皮膚に侵入
- ③ テープ中のアレルゲンの侵入
- ④ 伸び縮みする皮膚とテープで固定された皮膚の境界でのストレス
- ⑤ 剥離時に角質損傷

出典：www.maruho.co.jp

2. テープの剥がし方

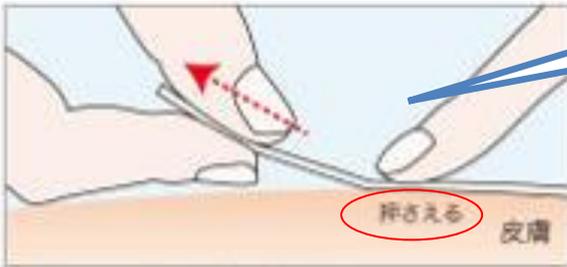


サージカルテープ:

テープ周囲の皮膚を片手で押さえ、テンションをかけないようにはがす角度を 180 度に近づけるようにしてゆっくりと剥がします

フィルムドレッシング材: 当院採用: パーミロール

皮膚と平行方向にフィルムドレッシングを引き伸ばしながら剥がすようにします



急いで剥がすと痛いだけでなく、剥離の剥離面積が広くなり、皮膚障害のリスクが高まります！

必要に応じて、剥離材や被膜剤も活用し、日頃から愛護的なケアを行いましょ



出典：www.nichiban.co.jp 一部改変

感染管理認定看護師の活動



◆都内で麻疹が大変増えています!!

2019年1月～4月までの東京都における麻疹患者報告数は計60件で、過去4年間の年間報告件数より既に多い報告数となっています。

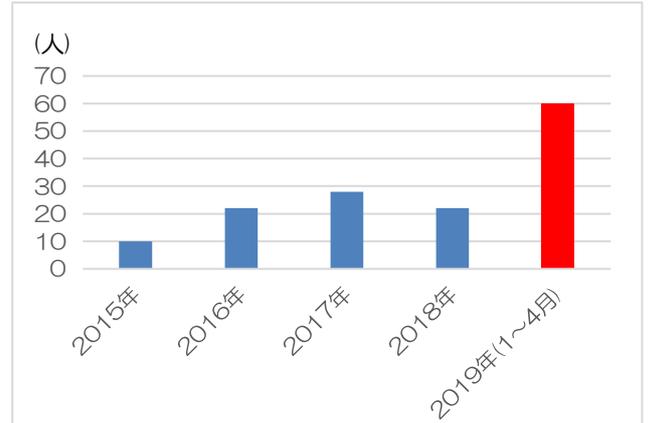


図1 過去4年間麻疹発生件数 (東京福祉保健局より引用)

◆麻疹とは

麻疹は、麻疹ウィルスの感染によって起こる感染症です。ウィルス感染後、約10～12日(最大21日)の潜伏期の後、発熱・咳・鼻水など風邪のような症状が出ます(最初は診断が難しいですが、この時期の感染力が最も強い)。その後、2～3日後に39度以上の高熱と発疹が全身に出現します。麻疹は治療法がなく対象療法が中心となります。脳炎や肺炎など重篤な合併症を引き起こす場合もあり注意が必要です。

◆予防について

麻疹は感染力がきわめて強く空気感染します。そのため、**1人の発病者から多くの人に感染します**。有効な予防法は、ワクチン接種をして免疫を予め獲得しておくことです。



感染力强

感染力が強く、免疫を持たない人にうつす割合は感染者1人当たり約12～14人。
※インフルエンザは2～3人

2～3人

12～14人

手洗いやマスクでは防げません。

麻疹疑い時の医療機関受診について

麻疹が疑われる症状(発熱や咳、鼻水、目の充血、発しん等)がある場合はマスクをつけ、**事前に医療機関に電話連絡した上で早めに受診してください**。その際に麻疹患者との接触や渡航歴がある場合にはそのことを医療機関に伝えてください。また、登園・登校、出社等は控えてください。

■ 今回のオススの書籍をご紹介します！



フィジカルアセスメントの第6ツールとして、看護師が臨床上で判断できる根拠としてのエコーの見方、取り方を紹介してくれています。

役に立つ！使える！看護のエコー

出版社：照林社

発行年：2019年5月



家族みんなで楽しく「自分のからだを守る方法」が学べます。インフルエンザ、ノロウイルス感染症など43の感染症がキャラクター化され、症状や感染経路、予防方法などがわかりやすく解説されています。

「気になるあの病気から自分を守る！

感染症キャラクター図鑑

出版社：日本図書センター

発行年：2016年1月

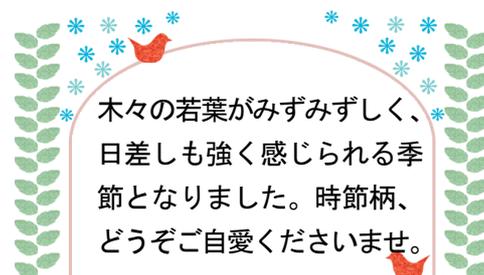
監修：岡田 晴恵



編集後記

＜ニュースレターの発行によせて＞

看護師をはじめ院内・外の多くの方々に私どもの活動を知っていただき、ご相談いただくことで、患者さんによりよい看護をご提供できればという思いでおります。今後ともよろしく願い申し上げます。



公立学校共済組合 関東中央病院 看護部